

がいこくじん じどうせい ほごしゃ  
外国人児童生徒と保護者のための

よっかいちしりつしょう ちゅうがっこうが いどぶっく  
四日市市立小・中学校ガイドブック

ようこそ

よっかいちし がっこう  
四日市市の学校へ



よっかいちしきょういくいいんかい  
四日市市教育委員会

## はじめに

ようこそ四日市市の学校へ

お子さんが毎日楽しく学校生活を送るためには、お子さん自身が日本の学校生活を理解することが必要です。

また、四日市市の小・中学校に入る外国人のお子さんの保護者の皆さんも、日本の学校生活について理解を深めていただきたいと思います。

そのために、この「ようこそ四日市市の学校へ」を作成しました。

なお、この冊子は四日市市の小・中学校に共通する部分だけ書いてあります。学校によって少しずつ違う点がありますので、さらに詳しく知りたい場合は、それぞれの学校にお問い合わせください。

平成31年（2019年）3月

四日市市教育委員会

# 1 保護者の皆さんへ

## (1) 学校と協力します

子どもの教育は、学校と家庭が互いに協力することが大切です。そのために、次のようなことについて、ご協力をお願いします。

### ① 学校へ行きます

授業参観日などに学校へ行くことで、子どもや学校への理解を深めることができます。

### ② 学校からの文書を読みます

学校だよりや学年通信など翻訳された文書には、学校からの知らせやお願いしたいことがたくさん書いてあります。

### ③ 子どもにかかわります

日本語を十分に理解していない子どもにとって、日本の学校生活はストレスを高めることがあります。一緒に宿題をするなどして、学習内容や学校生活について、子どもの話を十分に聞いて、励ましてあげてください。

### ④ 集金を納めます

義務教育で無償なのは、授業料と教科書代だけです。その他、学校生活に必要な給食や学習教材などの費用は保護者負担となっています。それらの支払いが遅れると、学校の運営に支障をきたしますので、決められた方法で必ず納めてください。

## 【集金方法】

- ・ ドリルや画用紙のような教材費、修学旅行や遠足などの行事の費用、給食費（集金全体の約70%にあたります）等は、毎月定期的に集金します。
- ・ 集金方法は、基本的には銀行や郵便局などの金融機関から自動口座振替になります。

### ⑤ PTA活動へ協力します

子どもたちの学校生活を支援するための「保護者と先生の会」であるPTAの活動（除草作業やバザー等）には、できるだけ参加してください。子どもたちの学校生活を支えるために使用するPTA会費もきちんと納めてください。

### (2) 学校を休ませません

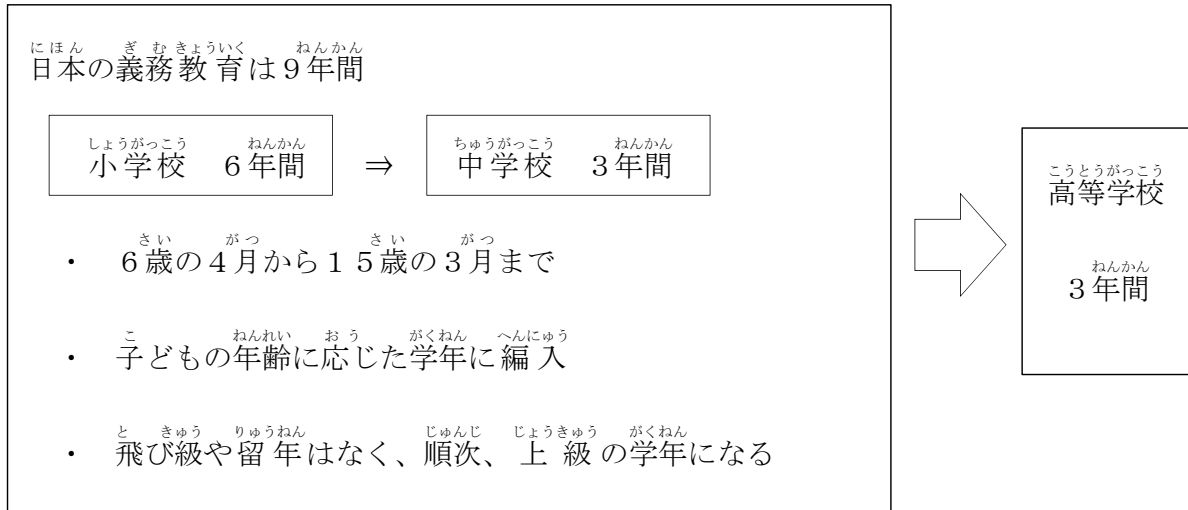
学ぶことを続けるためには、休まないで毎日学校へ通うことが大切です。病気などの特別な場合を除き、毎日登校させてください。もし、病気などで休む場合は、各学校の決められた方法で決められた時間までに必ず連絡してください。

### (3) 学校をやめさせません

ことばのわからない学校で学ぶことは、子どもたちにとって大変なことです。しかし、学ぶべき年齢で学ぶことをやめてしまえば、進学や就職も思うようにいきません。そのために、将来への希望がもてなくなってしまうこともあります。

## 2 日本の学校について

### (1) 教育制度



- 授業料、教科書代は無料。

給食（小学校）、副教材や練習帳等は有料 ⇒ 学校に支払います。

- 文部科学省の学習指導要領に沿って学習しますので、学習内容はどの学校も同じです。
- 1学級の人数は、40人以下。男女共学。
- 障害のある子どものために、一人一人の子どもの障害の程度に応じた教育が行われています。
- 小中学生の就労やアルバイトは禁止です。

### (2) 進学

- 日本の中学校を卒業した生徒の95%以上が高等学校に進学します。
- 高等学校の入学試験を受けるためには、「15歳以上であること」「日本や外国の中学校を卒業（あるいは卒業と同程度の学力があると認められた場合）していること」が条件です。

- 希望する高等学校の入学試験に合格するためには、必要とされる学力を身につける必要があります。
- 授業料、教科書代、制服代等の納入金が、1年間で30万円を超える高等学校もあります。
- 高等学校を卒業すると、就職の機会が増えたり、大学や短期大学などの入学試験を受けたりすることができます。
- 毎年、秋に「進学ガイダンス」が市内で行われますので、くわしいことは進学ガイダンスに参加して直接聞いてください。

### 3 四日市市の小・中学校について

#### (1) 居住する校区の学校に入るのが原則

四日市市内には、市立小学校が37校、市立中学校が22校あります。市立小・中学校に編

(転) 入学する場合は、居住する校区の学校に編(転) 入学するのが原則です。

#### (2) 適応指導員の派遣

- 四日市市には、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、中国語などの言葉を話すことのできる適応指導員がいます。適応指導員は、日本語指導の支援や、学校生活への適応指導を行います。

- 日本語の習得が不十分な児童生徒が転(編) 入学した場合は、その児童生徒や学校の状況に応じて、適応指導員が派遣される場合があります。

#### (3) 外国人児童生徒受入れ拠点校

- 外国人児童生徒受入れ拠点校とは、日本語の習得が不十分であるために、居住する校区の

がっこう にほんじんじどうせいとおな がくしゅう こんなん がいこくじんじどうせいと たい きょじゅう  
学校で日本人児童生徒と同じ学習をすることが困難である外国人児童生徒に対して、居住す  
る校区を超えて受け入れる学校のことをいいます。

- きょてんこう ざいせき がつきゅう と だ にほんごしどう てきおうしどう きょうか がくしゅうしどう おこな  
拠点校では、在籍する学級から取り出して日本語指導や適応指導、教科の学習指導を行う  
にほんごきょうしつ  
「日本語教室」があります。
- きょてんこう さきがわしょうがっこう ちゅうおうしょうがっこう にしきがわちゅうがっこう ちゅうぶちゅうがっこう こう  
拠点校は、笹川小学校、中央小学校、西笹川中学校、中部中学校の4校です。
- きょてんこう ご ご ちゅうごくご ことば はな  
拠点校では、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、中国語などの言葉を話すことができ  
きょういん てきおうしどういん にほんごしどう てきおうしどう きょうか がくしゅうしどう おこな  
る教員や適応指導員が日本語指導や適応指導、教科の学習指導を行います。
- きょてんこう どうげこう ほごしや せきん あんぜん かくほ つうがく こうつうひ ひつよう ばあい  
拠点校への登下校は、保護者の責任で安全を確保します。通学のための交通費が必要な場合は、  
ほごしや ふたん  
保護者が負担します。
- にほんごのうりよく み はんたん がくねん しゅうりょうご きょじゅう こうく がっこう もど  
日本語能力が身についたと判断されると、その学年の修了後、居住する校区の学校へ戻り  
ます。

#### (4) しよきてきおうしどうきょうしつ 初期適応指導教室「いずみ」

- にほんご しゅうとく ふじゅうぶん がいこくじんじどうせいと たい にほんご しよきしどう がっこうせいかつ てきおうしどう  
日本語の習得が不十分な外国人児童生徒に対して、日本語の初期指導、学校生活への適応指導  
など しゅうちゅうてき おこな きょうしつ ちゅうぶちゅうがっこうない  
等を集中的に行うための教室です。中部中学校内にあります。
- ざいせきこう つうきゅうあつか  
在籍校からの通級扱いとなります。
- つうきゅうきかん げつ げつ げんど ざいせきこう もど  
通級期間は、およそ3か月とし、6か月を限度に在籍校に戻ります。

## 4 学校生活について

### (1) 主な学校行事

日本の学校は、4月に始まり、3月に終わります。四日市市では、1年間を3つの学期に分けて

います。各学期の主な行事は、次のとおりです。

1 が 学 期	始業式	1学期の始まりを告げる行事です。
	入学式	1年生に入学する児童生徒を迎え、祝福する行事です。入学する児童生徒、保護者は通常正装して出席します。
	身体（発育）測定	身長、体重、視力、聴力など発育の様子を測定します。年に1回だけでなく、学期ごとに行う場合もあります。
	健康診断	体の様子や健康状態を医師が診断します。内科健診・歯科健診・眼科検診・耳鼻科検診・結核検診・尿検査・心電図検査などがあります。
	授業参観	児童生徒の授業の様子を保護者が参観し、その後、学級担任と懇談するなど、家庭と学校の相互理解を深めます。年間を通じて、何回か実施されます。
	家庭訪問	学級担任が児童生徒の家庭を訪問し、家庭や学校での生活などについて、情報交換をします。
7 が 月	遠足	公園や名所などに出かけて、自然や歴史・文化に親しみます。弁当やお茶などの準備が必要です。



しゅうがくりょこう 修学旅行	しょうがっこう ねんせい がつき がつき ばく ちゅうがっこう 3ねんせい がつき 小学校 6年生の1学期または2学期に1泊、中学校3年生は1学期  2 ばく しゅくばく ともなうだんたいりょこう に2泊の宿泊を伴う団体旅行をします。
ひなんくんれん 避難訓練	じしん かじ さいがい そな ひなん ほうほう まな 地震や火事などの災害に備えて、避難の方法を学びます。
こべつこんだんかい 個別懇談会	がつき がくしゅう がっこうせいかつ ようす がつきゅうたんになん ほごしゃ 1学期の学習や学校生活の様子について、学級担任から保護者に
れんらくひょうわた 連絡表渡し	つた かにてい ようす じょうほうこうかん 伝えたり、家庭での様子について情報交換をしたりします。
しゅうぎょうしき 終業式	がつき お つ ぎょうじ 1学期の終わりを告げる行事です。

か き 夏季	が つ にち が つ にち ちゅうきぎゅうぎょう やす ちゅう とくべつ がっこう 7月21日～8月31日までの長期休業です。休み中ですが、特別に学校に
きゅうぎょう 休業	い がくしゅう ちゅうがっこう ぶかつどう おこな 行って学習することもあります。中学校では、部活動を行います。

2 がっ 学 期	しぎょうしき 始業式	がつき はじ つ ぎょうじ 2学期の始まりを告げる行事です。
	うんどうかい 運動会	ときょうそう たまい とも おうえん 徒競走やリレー、玉入れやダンスをしたり、友だちの応援をしたりす
	たいいくさい (体育祭)	さんか きょうぎ しょうがっこう ちゅうしょく かぞく がっこう 参加できる競技もあります。小学校では、昼食は家族そろって学校  うんどうじょう べんどう た おお の運動場で弁当を食べることが多いです。
9 がっ 月 ↓ 12 がっ 月	しぜんきょうしつ 自然教室	とざん はんごうすい やがいかつどう しぜん 登山やオリエンテーリング、飯盒炊さんなどの野外活動によって、自然  した にんげんてき ふか しょう ちゅうがっこう ばく に親しみながら人間的なふれあいを深めます。小・中学校ともに1泊  しゅくばく ともな の宿泊を伴います。
	しゃかいけんがく 社会見学	しゃかいか そうごうてき がくしゅう じかん がくしゅう かんれん ぶんか けいざい 社会科や総合的な学習の時間などの学習とも関連して、文化、経済、  さんぎょう せいじ じゅうよう ばしょ けんがく 産業、政治などの重要な場所を見学します。

ぶんかさい 文化祭	ちゅうがっこう ひごろ がくしゅう せいか ほっぴょう ぼ がっしょう 中学校では、日頃の学習の成果を発表する場として、合唱コンク ール、舞台発表、展示発表などを行います。
こべつこんだんかい 個別懇談会 れんらくひょうわた 連絡表渡し	がっき がくしゅう がっこうせいかつ ようす がっきゆうたんになん ほごしゃ 2学期の学習や学校生活の様子について、学級担任から保護者に つた 伝えて、かてい ようす じょうほうこうかん 伝えたり、家庭での様子について情報交換をしたりします。
しゅうぎょうしき 終業式	がっき お つ ぎょうじ 2学期の終わりを告げる行事です。

とう き 冬季 きゅうぎょう 休業	1 2月24日～1月7日まで、ねんまつねんし やく しゅうかん みじか やす ちゅうがっこう 年末年始の約2週間の短い休みです。中学校では、 ぶかつどう おこな ばあい 部活動を行う場合もあります。
----------------------------	--

がっき 3学期	しぎょうしき 始業式	がっき はじ つ ぎょうじ 3学期の始まりを告げる行事です。
がつ 1月 ↓ がつ 3月	そつぎょうしき 卒業式	さいじょうきゅうせい そつぎょう いわ ぎょうじ そつぎょう じどうせいと ほごしゃ 最上級生の卒業を祝う行事です。卒業する児童生徒、保護者は つうじょうせいそう しゅつせき 通常正装して出席します。
	しゅうりょうしき 修了式	ねんかん し おこな ぎょうじ 1年間の締めくくりを行う行事です。

## (2) がっこうせいかつ 学校生活

### ① につか 日課

- じゅぎょう じかんすう げこうじこく ようび がくねん こと ちゅうしよく にち  
授業時間数や下校時刻は、曜日や学年によって異なりますが、昼食をはさんで1日にだ  
いたい4～6限の学習を行います。
- げん じゅぎょう じかん なが ふつう しょうがっこう ふん ちゅうがっこう ふん じゅぎょう じゅぎょう  
1限の授業時間の長さは普通、小学校は45分、中学校は50分です。授業と授業と  
あいだ やす じかん  
の間には休み時間があります。

- ・ 中学校では、放課後の部活動があります。

【小学校の日課の例】

8:35	8:45	12:25	13:20	13:40	15:15	15:25
あさ かい 朝の会	げんじゅぎょう 1～4限授業	きゅうしょく 給食	そうじ 掃除	げんじゅぎょう 5～6限授業	かえ かい 帰りの会	

【中学校の日課の例】

8:35	9:00	12:50	13:30	15:25	15:40	15:55	※
あさ かい 朝の会	げんじゅぎょう 1～4限授業	ちゅうしょく 昼食	げんじゅぎょう 5～6限授業	せいそう 清掃	かえ 帰り	かい の会	ぶかつどう 部活動
どくしょ 読書							

- ※ 部活動の終了時刻は、季節によって変わります。だいたい16時30分から18時00分くらいに終わります。

② 朝の会・帰りの会

- ・ 学級では、毎日約10分程度の朝の会と帰りの会があります。
- ・ 朝の会では、主として健康観察をしたり、日直や係、先生が話をしたりします。
- ・ 帰りの会では、1日の反省や明日の予定、持ち物の確認、先生からの話などがあります。

③ 授業

- ・ 教科の学習（国語、算数・数学、理科、社会など）と教科以外の学習（学級活動、総合的な学習の時間など）があります。
- ・ 小学校では主に学級担任、中学校では教科担任による指導が行われています。

## 【国語】

日本語を聞いたり話したり、読んだり書いたりします。文の内容を読み取る学習もあります。文字の組み立て方や大きさなどに気をつけて書く書写の時間もあります。小学校では、図書室の本を読んだり借りたりする時間があるところもあります。

## 【算数・数学】

小学校は算数、中学校は数学とよんでいます。数と計算や量と測定、図形や数量関係について勉強します。学年に応じてコンパスや分度器などの持ち物が必要となりますので、その都度、学校からお知らせします。

## 【生活】

小学校1年生と2年生は、生活科の学習をします。自分と人や社会とのかかわり、自然とのかかわり、自分自身のことについて具体的な活動や体験をしながら学びます。

## 【社会】

小学校3年生以上で学習します。身近な地域の様子を調べたり、日本や世界の地理、歴史などの学習をしたりします。地域の様子を調べる時には、見学に行つて学習することもあります。中学校では、政治や経済に関しても学習します。

り か  
【理科】

しょうがっこう ねんせい いじょう がくしゅう しょくぶつ どうぶつ たいよう つき ほし かんさつ くうき  
小学校3年生以上で学習します。植物や動物、太陽や月や星の観察をしたり、空気や

みず ひかり おと でんき もの と かた じっけん しら  
水、光や音、電気、物の溶け方などについて実験をしたり調べたりします。

きょうしつ りかじつ こうがい た こうえん がくしゅう とき  
教室だけでなく、理科室や校外（田んぼや公園など）で学習する時もあります。

おんがく  
【音楽】

おんがくしつ うた うた がっき けんばん えんそう  
音楽室で歌を歌ったり、楽器（鍵盤ハーモニカやリコーダーなど）を演奏したり、いろ

きょく かんしょう とお ゆた かんせい やしな おんぶ がくふ  
いろな曲を鑑賞したりすることなどを通して、豊かな感性を養います。音符や楽譜の

よ かた おんがく きほん がくしゅう がっき こうにゅう  
読み方など音楽の基本を学習することもあります。楽器の購入をすることもあります。

ず が こうさく びじゅつ  
【図画工作・美術】

しょうがっこう ず が こうさく ちゅうがっこう びじゅつ  
小学校は図画工作、中学校は美術とよんでいます。

え ちょうこく みちか ざいりょう もの つく さまざま びじゅつさくひん かんしょう  
絵や彫刻、デザインをしたり、身近な材料で物を作ったり、様々な美術作品を鑑賞し

たりすることを通して豊かな感性を養います。絵具セット、のり、はさみなどは、自分で

ようい いがい あ ぼこ ようい  
用意します。それ以外に、空き箱やペットボトルなどを用意することもあります。

## 【家庭、技術・家庭】

しょうがっこう ねんせい ねんせい 家庭の学習があります。家庭科室で調理実習をしたり、裁縫

道具やミシンを使って布で小物を作ったりして、日常生活に必要な基礎的な知識と技術

を身に付けます。

中学校では、技術・家庭と読んでいます。技術では、コンピュータを扱ったり、木や

金属を加工したりして、ものづくりをします。家庭では、調理実習や被服製作のほか、

保育についても学びます。

## 【体育、保健体育】

体育の時間は、運動場や体育館で運動します。夏は、プールで水泳をします。体操服と

赤白帽子（小学校のみ）、水着と水泳帽子などを用意します。小学校3～6年生は、体

の成長や病気の予防などの保健の学習も行います。

中学校では、保健体育とよんでいます。保健の時間には、体の成長や応急手当など

について学びます。

## 【英語】

アルファベットの書き方や英語の基本文などについて学びます。アメリカ合衆国など

から来ている英語指導員から英語を聞いたり話したりする活動もあります。

## 【道徳】

主として自分自身や他の人とのかかわり、自然や崇高なもの及び集団や社会とのかかわりに関することなど、良いことや悪いことの判断や社会生活の中で望ましい考え方や公衆道徳などを学びます。

## 【総合的な学習の時間】

自分で課題を見つけ、地域に出かけていくなどして自分で調べたり、体験したりしながら、教科の勉強で身に付けたことを生かして学習をします。  
中学校では、職場体験などを通して進路について学びます。

## 【学級活動】

学級活動では、学級のみinnで相談しながら、困ったことを解決したり、楽しい催しを企画・実行したりします。また、進路や職業などについても学習します。

## ④ 給食（昼食）

- すべての小学校では、4限目の授業が終わると、教室やランチルームで、学級の友だちや先生と一緒に給食を食べます。
- 食べる前に石けんなどで手をきれいに洗って、給食用の清潔なハンカチで手をふきます。
- 毎日、机の上に清潔なナフキンを敷いて、給食を配膳します。
- 給食の準備や後片付けは、当番制で子どもがすることが多いです。当番の人は、マスク、エプロン、帽子をつけます。マスクは、家から自分専用の物を持ってきます。週末に当番の

児童はエプロンと帽子を持ち帰り、洗い、アイロンをかけて、週始めに学校へ返します。

- すべての中学校では、デリバリー給食（牛乳つき）か、家から持ってくる弁当かを選ぶことができます。牛乳のみ注文することもできます。

### ⑤ 掃除（清掃）

- 掃除は、子どもたち自身がします。グループに分かれて、教室や廊下、階段やトイレなどをほうきではいたり、床や机をぞうきんでふいたりします。

### ⑥ 部活動

- 中学校では、自分の得意な分野をさらに伸ばしたり、興味のあることを追究したりするために部活動を行います。
- 学校や部によって違いますが、放課後や朝の始業前、休日などに活動を行います。

#### 【部活動の例】

野球、サッカー、バスケットボール、テニス、バレーボール など

合唱、吹奏楽、美術、パソコン など

### ⑦ 生活のきまり

- それぞれの国と日本との習慣の違いを理解していただき、ご協力をお願いします。

#### 【生活のきまりの例】

アクセサリー、口紅、マニキュア、髪を染めるなどは禁止。

中学校では、決められた制服を着用する。

お菓子やジュースなどは持っていない。 など



### (3) 通学

#### ① 小学校

- ・ 多くの小学校では、近くの友だちが集まって通学班で登校します。集合場所と時刻を守りましょう。
- ・ 病気や用事などで学校を休む場合は、連絡帳に書いて、同じ通学班の人を通して、担任の先生に伝えます。

#### ② 中学校

- ・ 中学校には通学班はありません。
- ・ 自宅から学校が遠い場合は、自転車通学が認められることがあります。

### (4) 学用品

- ・ 教科書以外の学用品は、家庭でそろえる必要があります。学校からの指示に従って用意をしてください。

### (5) 独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済給付制度

- ・ この制度は、学校管理下における児童生徒（外国人を含む）のけがなどに対して、必要な医療費の給付を行うものです。
- ・ 決められた負担金（年会費550円）を納めることによって加入でき、けがなどの程度に応じて後で給付金を受け取ることができます。ただし、給付金の対象は、治療に要した費用が総医療費5,000円以上が対象となります。（保護者が健康保険に加入している場合は、窓口支払い1,500円以上が対象となります。）

(6) 就学援助制度

- 四日市市では、経済的な理由により、子どもを学校へ通学させることが困難な家庭に対し、義務教育9年間に必要な就学費用の一部を援助する「就学援助制度」があります。
- 申し込みについては、各学校や教育委員会学校教育課、地域の民生委員・児童委員へ  
問い合わせください。

(7) 緊急時下校

- 暴風警報などが発令された場合は、緊急で下校となったり、臨時休校となったりします。  
学校からの指示に従って対応してください。

はっこう へいせい ねん 平成31年（2019年）3月  
発行

はっこうしょ よっかいちしきょういくいんかい  
発行所 四日市市教育委員会

〒510-8601 よっかいちし すわちよう ばん ごう  
四日市市諏訪町1番5号

でんわ 電話 (059) 354-8255

FAX (059) 354-8475